

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
包帯 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習+ 実技	時間数	30	単位	1
担当教員	難波英樹			実務 経験	有	職種	柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）				
授業概要											
柔道整復師に必要な包帯の巻き方について学ぶ。											
到達目標											
アルミ副子の作成、キャストライトの使用方法和注意点、各関節の固定方法を実践的に活用できることを目標とする。											
授業方法											
この包帯とは柔道整復師の行う施術法の中に含まれ、患部の安静を図るなどの手段として理解をする学問である。授業形態は、主に実技中心で包帯2では包帯に関するの応用知識を習得し、最適な固定材料の選択の仕方を学び、各部位での最適な固定技術を習得する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書（包帯固定学一般社団法人全国柔道整復学校協会監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	アルミ副子について										
第2回	アルミ副子固定のポイント										
第3回	熱可塑性キャスト材について										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
包帯 2	
第4回	テーピングについて
第5回	手指（PIPJ）や腱鞘炎のテーピング
第6回	鎖骨骨折のポイント(1)
第7回	症例報告と三角巾
第8回	振り返り(1)
第9回	鎖骨骨折のポイント(2)
第10回	肩関節脱臼の固定方法(1)
第11回	肩関節脱臼の固定方法(2)
第12回	厚紙副子の種々な作製と固定例
第13回	肘関節後方脱臼の固定法
第14回	救護の症例紹介
第15回	振り返り(2)